

業績改善に取り組んでまいります。



業績ハイライト — 決算のポイント

※ 金額は単位未満を切り捨てて表示しています

平成21年3月期は、本業である預金・貸出金の残高は順調に推移したものの、世界的な金融危機の影響で、保有する債券の償却・償還損を77億円、株式等の償却・売却損を151億円計上したことに加え、景気が急速に悪化するなかで厳格な自己査定を実施した結果、昭和8年の当行創業以来初の赤字を計上することとなり、経常損失は188億円、当期純損失も166億円となりました。今後業績回復に向け全役職員が一丸となって取り組んでまいります。

(単位:億円)

	平成20年3月期	平成21年3月期	前期比
業務粗利益	603	566	-37
資金利益	582	568	-14
役務取引等利益	76	65	-10
その他業務利益	-54	-66	-12
うち国債等債券償却・償還損① (△)	71	77	6
経費 (△)	445	460	14
一般貸倒引当金繰入額② (△)	45	17	-27
業務純益	113	88	-25
臨時損益	-12	-277	-264
うち不良債権処理額③ (△)	113	114	0
うち株式等償却・売却損④ (△)	7	151	144
経常利益	101	-188	-290
特別損益	-7	-2	5
当期純利益	33	-166	-199

債券・株式減損等 (①+④)	78	229	150
----------------	----	-----	-----

与信コスト (②+③)	158	132	-26
-------------	-----	-----	-----